

こんにちは

-No.38-

日本共産党 東村山市議会議員



山田たか子です

山田たか子事務所

TEL 395-4973

携帯090-5824-7597

<秋津事務所>

秋津町4-39-71

<青葉事務所>

青葉町2-28-6

核兵器禁止条約

1月22日に発効!



新しい年にふさわしい明るいニュースです。

核兵器はこれまで、被爆者をはじめ世界の多くの人々から「究極の悪」と厳しく非難されてきました。この条約により核兵器は、史上初めて違法化となります。核兵器を保有し、使用をふりかざす国は「無法者」とみなされ、「核の傘」に依存する国は「共犯者」となります。

小さな国々が声をあげ、発効を実現させた今、大国による世界を支配する時代は終わりを告げました。これは、平和を求め、世界の国々が対等であることを掲げる日本国憲法の理念に通じます。

唯一の被爆国である日本が条約に背を向け、古いどころか、憲法の理想にまだ追いついていない今、憲法を変えようとする政府。

政権を変え、憲法に基づく政治で、世界と対等に平和を分かち合える国に転換する年にしたいです。

少人数学級を求める陳情 不採択

12月市議会
報告①

『国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進の意見書の採択を求める陳情』が市民から提出されました。

子どもたちの学び・心のケア・安全の保障には、子どもと教員の健康と命を守る観点からも、少人数による教育は重要です。学校現場を知る地方が国に要望を出すことは当然であり、私達は賛成しました。



反対意見は、陳情文の中に「緊急に20人程度で授業ができるようにすること」という文があり、「教員確保と財源確保を考えると緊急にはできない」と。時間がかかるからこそ、早期に目標を掲げて動き出す必要があります。国を動かす事も私たち議員の役割です。また、「国は具体的な人数を明示していない」「財政の裏付けがない」等、市民ではなく国の動きを注視する自民公明の多数により不採択となりました。

活動報告・今後の日程

12月24日 秋津駅夕方宣伝



後援会のみなさんと、清瀬市議との合同でくらしの相談受付の訴えかけ。「あたたかい声の語りが聞こえ、人間らしい世の中が見えた感じがした…」との感想が寄せられました。

お困りごとは、日本共産党へご相談ください。

12月29日・30日

くらしの相談会開催

青葉・秋津両事務所で開催しました。相談の中で「うちの店も対象になるのかな…。申請方法もインターネットじゃわからないし。年金だけではやっていけないよ…」今の方法では、高齢事業者さんには届かない実態が明らかに。

1月11日 東村山を変える
超党派議員連盟 議会報告会



◎市民センター第1~3会議室

1月11日(月) 13:30~

橋本直子 さとう直子 山田たか子 渡辺みのる
渡見みどり 藤岡まきみ 山口みよ

インターネット配信あります。※コロナ感染状況により、中止となる場合もあります。ご了承ください。

12月市議会一般質問

1.子どもと保護者の不安に応える 相談体制の強化を

「子育てに悩んだ時に市へ相談してみたけど、担当者が変わるし、(解決していないけど)行かなくなっちゃった…」コロナ禍で一層、子育ての悩みを抱え込んでいる方が増えているのではないのでしょうか。

市の「子ども相談室」では、子どもと保護者の方の心配ごとがなくなるまで継続的に関わっていると言いますが、上記の様な声を複数伺ったことがきっかけとなり、一般質問をすることにしました。

市が行った「若い世代の結婚、出産、子育ての希望等に関する市民アンケート」2016年3月の調査結果報告によると、子育てを9割以上が「楽しい」と答える一方で、「楽しくない」との回答は5.3%、約20人に1人の割合です!



私はこれまでも、子育ての実態調査を行うことを求めています。既存の数字やアンケートは改善の目安になり、活用するべきと考えます。ところが市は、新たな調査は「行わない」の一点張りです。

相談室は予約制ですが、前述のように相談をあきらめてしまう場合など、どのような理由で相談をやめたのかを、市は把握していないことがわかりました。不安を抱える保護者に対して、あまりにも冷たい対応です。

子育てに正解はありません。相談者は解決だけを求めているのではなく、一緒に悩み、子育てに伴走してくれる存在を求めているのではないのでしょうか。

困った時・悩んだ時にいつでも頼れる相談室であって欲しい。既存の体制に相談者を合わせるのではなく、1人ひとりに向き合えるよう、相談員の増員も併せて要望しました。

私は共産主義者でなかったから

ナチ党が共産主義者を攻撃したとき、私は多少不安だったが何もしなかった。学校が、新聞が、ユダヤ人が攻撃されたとき、ずっと不安だったがまだ何もしなかった。ついに教会を攻撃した。私は牧師だったから行動した一しかし、それは遅すぎた。

ナチスに弾圧され、強制収容所に入れられたマルティン・ニーメラー牧師の詩です。この教訓が時空をこえ、いまの日本によみがえています。菅首相による学術会議への介入。学問や研究の自由が奪われ、戦争と一体化されていった過去の痛恨を思い起こさせるからです。「ここできちんと抗議しないと将来に禍根を残す」。同じ思いは、さまざまな学会や学生、市民にひろがり、任命拒否の撤回を求めています。日本が太平洋に戦端を開き、破滅へと向かった日に改めて考えたい。権力が批判や反対を封じ込める動きを強めたそのとき、歴史が突きつけてきたことを。

~2020年12月8日しんぶん赤旗より抜粋

土にかえる

消える生ごみ

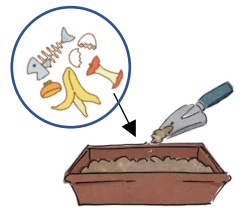


生ごみを土によみがえらせるために、市が取り組んでいる「ミニ・キエーロ」。我が家でも取り組んでいます。

生ごみを土に混ぜるだけで白カビが発生して土に分解され、ごみが消えます。生ごみの収集に出す量が減りました。

生ごみの水気を切る手間が不要、臭いも気にならないほどではありません。

なかなか分解が進まない物もありますが、消えていく生ごみを楽しみに、土をかき混ぜています。(毎日かき混ぜるぬか床はなかなか続けられませんが、これは続きます(^_^))



市のホームページには、作り方や使い方が掲載されています。

やってみようかな?と気になる方、ぜひお声掛けください。

❖山田たか子
ツイッター



❖いま しんぶん赤旗 がおもしろい!
日刊紙 月3,497円(一部売130円)
日曜版 月930円(一部売240円)
日刊紙 電子版(月3,497円)



東村山民報 2021年1月号外 山田たか子活動紹介です。
◇東村山民報社◇ 小松恭子 東村山市美住町1-2-5